

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備

第4節 県民・患者の医療に関する選択支援

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 診療情報提供の推進	
	医療安全相談センターにおいて、患者やその家族からの相談に対し、問題解決へ向けてのアドバイスを日常的に行っている。(H28：相談件数 2,190 件、H25 からの累計：8,482 件)
(2) 治療の選択肢の多様化	
→	3 医科大学において、県民向けに漢方に係る講座を計 3 回実施し、県民に対して東洋医学に係る知識の普及啓発を行った。
→	新たに県立がんセンターに、漢方サポートセンターを開設し、漢方診療、栄養サポート、相談・紹介、東洋医学への理解の推進を行った。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県				出典等
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 診療情報提供の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	問題解決へ向けての適切な情報提供が行われており、患者本人が医療機関から提供される情報をよく理解し、主体的に考えて自己決定できるように努めている。
評価理由	患者が医療に関する適切な選択が行えるように医療安全相談センターにおける情報提供を着実に進めている。
今後の取組みの方向性(29 年度に向けた取組の方向性)	引き続き、患者に対して必要な情報が提供されるように医療安全相談センターにおいて診療情報の提供を推進していく。

次期計画に向けた取組の方向性	引き続き、患者に対して必要な情報が提供されるように、医療機関、関係団体等との連携体制を構築しながら、医療安全相談センターにおいて診療情報の提供を推進していく。
----------------	---

(2) 治療の選択肢の多様化

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	漢方など東洋医学による治療を実践する漢方診療の実施体制を充実するため、「漢方サポートセンター」を開設し、院外の紹介患者を受け入れるなど充実強化に努めている。
評価理由	漢方など東洋医学による治療を実践する漢方診療の実施体制を充実し、着実に取組みを進めている。
今後の取組の方向性(29年度に向けた取組の方向性)	引き続き、東洋医学を推進することにより、副作用の抑制やQOL（生活の質）の向上などががん患者の治療法の選択の拡大を図っていく。
次期計画に向けた取組の方向性	

4 総合評価

評価	評価理由
B	医療安全相談センターにおける情報提供が患者の医療に関する適切な選択の一助を担っており、また、県民向けに漢方に係る講座を実施するなど、県民・患者に対する医療に関する選択支援の課題については、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--